



RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成29年

2月22日(水)

例会場：福島サンパレス

第31回 例会

会員 / 74名 出席 / 50名 出席率 / 67.57%

メイクアップ / 24名 修正 / 74名 修正率 / 100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 佐久間 功 会長



本日は2月最後の例会となりました。間もなく3月に入りますが、春の訪れまではもう少しです。寒い日々が続いています。インフルエンザや急性胃腸炎などが猛威を振っていますので、会員の皆様も健康管理にはお気を付けてください。

今の季節を感じさせるお菓자에桜餅があります。私の職業柄、桜餅の由来について少しお話しします。徳川三代將軍家光の頃、江戸向島にある長命寺のお寺の門番でありました山本新六は、隅田川の桜の落ち葉を掃除していましたが、このまま捨ててしまうのはもったいないと、水洗い醤油樽で塩漬けにして餅に巻いて売り出したところ、桜の葉の独特な香りが餅との相性が合い美味しいと、墓参りに訪れた庶民の間で人気を得たことが始まりと言われています。その後、將軍吉宗の時、隅田川沿いに桜の植樹が行われ、これを機に花見の時は賑わいを見せたという事です。因みに、餅で丸くした餡をくるみ桜の葉で巻いた桜餅は関東風で、一方、道明寺という餅で餡を包み丸くして桜の葉を巻いて仕上げたものは関西風です。道明寺で仕上げたものは元々椿の葉を付けて平安時代の頃からあったようですが、長命寺の桜餅が有名になり、その影響で桜の葉を使うようになりました。今では、菓子職人の好みで、どちらかを作っています。

クラブ家族旅行はお疲れ様でした。月曜日に熊本南ロータリークラブ例会へメーカーキャップされ、義捐金贈呈とバナー交換の様子は、その日の午後、向こうの事務局よりメールで写真が送られてきてまして参加された皆さんの元気な姿を見て安心しました。と同時に熊本南ロータリークラブの素早い対応には驚きました。見習うところがあるように思います。

3月のロータリーレートは、1ドル116円との事です。

3月1日(水)のプログラム

- 12:30 1.開会点鐘
- 2.国家斉唱
- 3.ロータリーソング 奉仕の理想
- 4.4つのテストの唱和
- 5.来訪者紹介と会長挨拶
- 6.スマイリングBOXの報告
- 7.県南分区IM パネラー参加報告
- 8.お食事をどうぞ 幹事報告
- 9.MY Rotary 登録について
- 10.会員スピーチ
 - ・小坂 和也 会員 (10分)
 - ・熊田 治 会員 (10分)
- 11.各委員会報告
- 13:30 12.閉会点鐘

今後のプログラム

- 3月8日(水) 第33回例会
 - ・ロータリーの友読みどころ
 - ・誕生祝い
 - ・IMパネラー(東京RC)参加報告 高橋 勇雄 会員
 - ・クラブ協議会 次年度委員会組織表発表 第10回理事会 PM1:40～
- 3月15日(水) 第34回例会
 - ・米山奨学金授与
 - ・あれこれなんでも相談会参加報告
 - ・ガバナー補佐訪問
- 3月22日(水) 第35回例会
 - ・創立記念夜間例会 18:00～
 - ・地区職業奉仕セミナー参加報告
 - ・PETS参加報告
 - ・会員スピーチ(武藤 正隆 会員)
- 3月29日(水) 休会

地区情報・第一分区・関連情報

- 3月11日(土) あれこれなんでも相談会 (福島中央RC・アオーゼ)
- 3月11・12日(土・日) PETS会長エレクト研修セミナー(磐梯熱海)
- 3月18日(土) 地区職業奉仕セミナー(磐梯熱海)
- 3月25日(土) 県北第一・第二分区合同新会員 オリエンテーション(辰巳屋)
- 3月26日(日) 県北第一分区 親善ボーリング大会 (カラシマ・PM2:00～)
- 3月26日(日) 日野皓正復興ライブ(市公会堂)



米山奨学金授与及び米山奨学生スピーチ

米山奨学生
張 芳宇 さん

みなさんこんにちは。お元気ですか？今日は私の近況をご報告したいと思います。まず何と言っても私は研究が佳境に入り大変忙しい毎日を送っています。私の指導教官の宇川教授は私のために三つの研究プロジェクトを進めてくれています。それぞれの実験について被験者を募集し、データを集めなければなりません。何人かの被験者が集まり、これからまさに実験が始まる所です。

私の実験のひとつはパーキンソン病の患者さんの運動準備に関連する脳波を記録するものです。パーキンソン病では運動が困難になるので、その症状を脳波でとらえることができるかを調べています。健康な人ではなにかの運動を準備するとき特徴的な脳波の変化がみられます。パーキンソン病で運動障害がある患者さんではこの運動準備電位が低下するのではないかとというのが作業仮説で、これを確かめるために私は毎日脳波の波を眺めて考えています。

二つ目の実験は磁気刺激と脳波を組み合わせた実験です。磁気刺激は頭の外から強い磁気を与えることにより脳のなかに渦電流を誘導し、これにより脳の情報処理を外部から操作する実験手法です。

三つ目の実験はパーキンソン病の認知機能を調べる計画です。この実験をするには日本語で患者さんに質問をしたり、日本語を聞き取って回答を記録したりする必要があります。私の日本語学習の成果が問われる研究です。今後の研究の進展具合をまた皆様にご報告したいと思います。

次に、昨年静岡へ行きロータリークラブの創設者である米山梅吉について学ぶ機会を頂きましたので、私なりに理解したことをお話することで感謝の気持ちを表したいと思います。静岡旅行では、三島スカイウォークと世界遺産である富士山反射爐、そして米山梅吉記念館を訪れました。天気はやや曇っていて、スカイウォークから富士山を見晴らすことはできませんでしたが、この景色の素晴らしさを私は忘れることはないでしょう。記念館では米山梅吉という人物について学びました。

今回の旅行でもう一つ幸運だったのは台湾人の篠原さんと出会えたことです。彼女は山梨県米山学友会の会長で大変な熱意をもって米山ロータリーのイベントに参加されています。私は彼女といろいろ話をして大変楽しい時間をもつことができました。また、ほかに郡山と会津から来た中国人学生二人ともお話をすることができました。まだまだ多くの人と知り合う機会があればと思っています。

また、私は三春で開かれた地区大会にも参加しました。主幹したクラブは伝統芸能を準備してくれましたが、これを見て私は台湾の伝統舞踊を思い出しました。でも三春の踊りは台湾の踊りよりずっと静かなものでした。人々が地方自治体に多額の寄付をして観光促進や猪苗代湖の保全に役立っていると聞きました。若い世代の人が慈善活動にかかわっていることも印象的でした。実は私の夫も米国で同じような慈善活動をしていました。そのことは彼の人生にとってとても重要なことだったのだと思います。私は若者が学校でよい点をとるだけでなくロータリークラブが行っている社会貢献のような活動を是非するべきだと思います。

昨年、私はイギリスのバーミンガム大学で開催された脳波解析の講習会に参加しました。ヨーロッパへ行くのは初めてでしたが、街がとても美しいと思いました。講習会は有益で自分の研究の役にたつ素晴らしいアドバイスをたくさんもらいました。多くの国から受講生が来ていて、アメリカ、ポルトガル、インドネシア、ブラジルなどの人と出会いました。こういった人たちはみな英語で話しますがなまじりあって、私の英語力では十分理解することはできませんでした。英語の学習の重要性を実感しました。

私の生活は最近イベントが盛りだくさんです。そして私は多くのことを学んでいます。研究が順調に進んでほしいと思っておりますが研究はいつも順調に行くわけではありません。何とかよい結果がでるよう努力しています。そして皆さんにサポートしていただいていることを感謝しています。



会員スピーチ 丹治 智幸 会員

私は今、株式会社つながるファームという農業法人を経営しております。それは、私の志に起因します。私の志は、障がい者と区別される私たちの仲間が、一人もいない社会が豊かな社会と想っています。

私は、生きる上で、障害を感じる仲間を障がい者という理解しています。障害によっては働くことは可能ですし、その働き先は、農業や伝統工芸などの単調で根気のいる仕事で、取り組み方が結果を大きく左右する職人の世界が向くと思っています。

農業法人を立ち上げた理由には、もう1つの想いがあります。それは、ふるさとを守るために、私たちの文化の根底にある農業の再生を図る必要があり、それが、耕作放棄地の閉塞にあると思っています。

この2つの想いの実現のために、経済の世界で農業が自律する仕組みを作りました。それは、長ネギを生産・流通・販売する仕組みです。横浜の仲卸業者と提携しましたので、図らずも、地産外商となります。これによって、地元雇用も障がい者雇用も実現し、合わせて、耕作放棄地の大規模閉塞により、ふるさとを守り、次世代に引継ぐという使命を果たそうと思っています。



熊本家族親睦旅行報告 吉田 和義 会員

当クラブの親睦旅行で2月19日より2月21日迄、熊本へ2泊3日の旅行に行きました。今回の旅行の目的は会員家族も含めて親睦を深めること、熊本南RCの例会にメーカーキャップすること、熊本城復旧の義援金を届けることでした。

日曜日吹雪の中一途浩孝会員の盛大な見送りで福島を出発、途中より天候は回復し定刻仙台空港を離陸、無事福岡空港到着しました。福岡空港で弁当と大量の飲み物を積み込みバスで熊本へ向かいました。すでに仙台空港で下地が入っている人も多く、バスは賑やかです。水前寺公園、熊本県立美術館を巡った後、あか牛と郷土料理会席の店「城見橋」でライトアップされた熊本城を眺めながら馬刺しや辛子蓮根を頂きました。

20日午前中熊本城を見学の後熊本南RCの例会場へ向かいました。受付挨拶の後、例会場の指定の席に各自着席。創立60周年(昭和33年創立)の伝統あるクラブ、昭和43年熊本県立西高校IAC設立、昭和57年熊本南RAC設立、昭和60年より毎年バトミントン大会を開催、新世代奉仕に素晴らしい活動を残しているクラブです。平成19年クラブ創立50周年の記念事業としてタイ・プロジェクトを開始、10年後の本年度で終了するとの事でした。

例会の中で私たちにスピーチの時間を頂きました。私が代表でスピーチさせて頂きました。東日本大震災時の支援に御礼を申し上げ、福島の現状を語り廃炉に向けた長い道のりがやっと始まった事を話させて頂きました。そして、バナー交換・義援金贈呈・お土産披露(起き上がり小法師)を無事終える事が出来ました。

例回終了後、ホテル脇のコンビニで大量の飲み物を仕入れ(菊池会員の仕事)一路天草へと向かう。3ヶ目は柳川の川下りを楽しんだ後「うなぎのせいろ蒸し」を堪能し帰路につく。福岡発の飛行機が少し遅れた為福島到着は午後9時となりましたが全員無事に帰ってきました。



事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2 号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878
HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp
例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町 4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375